

**AND**

**HOLON**

A&Dホロンホールディングス

2024年3月期 決算説明資料

A & Dホロンホールディングス

証券コード 7745

<ご注意>

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。

2024年3月期

前期比 増収増益を継続  
ほぼ当初予想通りの着地

売上高 61,955百万円 前期比 + 5.0%  
営業利益 7,955百万円 前期比 + 6.4%

- 半導体関連事業は、当社製品への需要は年間を通じて堅調に推移し大幅増収増益となり全体業績を牽引
- 医療・健康機器事業は、事業業績としてほぼ当初予想通りの着地だが、為替が大きく影響
- 計測・計量機器事業は、海外の設備投資需要抑制やEV動向が影響し、前期比増も当初予想は未達

2025年3月期予想

引き続き増収増益を見込み、  
中期経営計画最終年度の達成を目指す

売上高 66,000百万円 前期比 + 6.5%  
営業利益 9,200百万円 前期比 + 15.6%

- 半導体関連事業は24年3月期並みの実績を見込む。次世代機への開発に注力
- 医療・健康機器事業は地域ごとの販売戦略および新たな事業展開の推進と原価低減の取り組み強化を図る
- 計測・計量機器事業は、米州の事業再構築、中国・アジア地域の需要を捉え業績の拡大を目指す

株主還元

2025年3月期の年間配当予想は2024年3月期から5円増配し40円を予定  
(中間配当20円、期末配当20円)

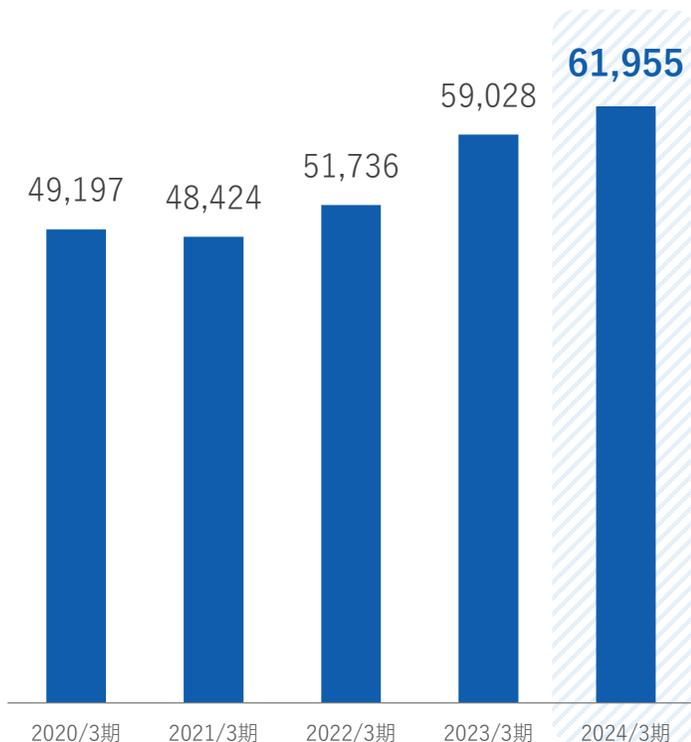
21年3月期以降ROEは二桁を維持、24年3月期のROEは15.1%、PBR1倍以上

	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
ROE	9.2%	17.6%	15.9%	19.5%	<b>15.1%</b>
PBR	0.77	1.24	0.83	1.20	<b>2.12</b>

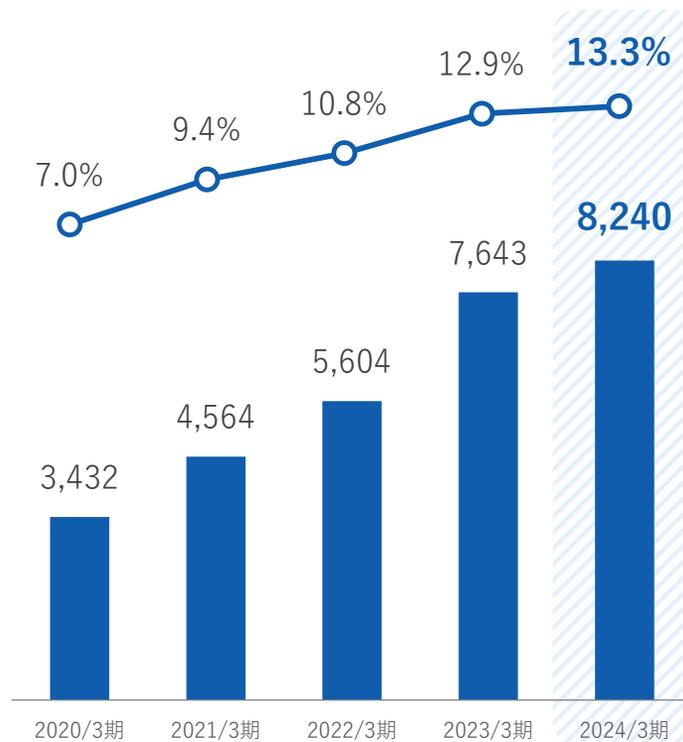
※PBRは毎期3月末時点の株価で算出

(単位：百万円)

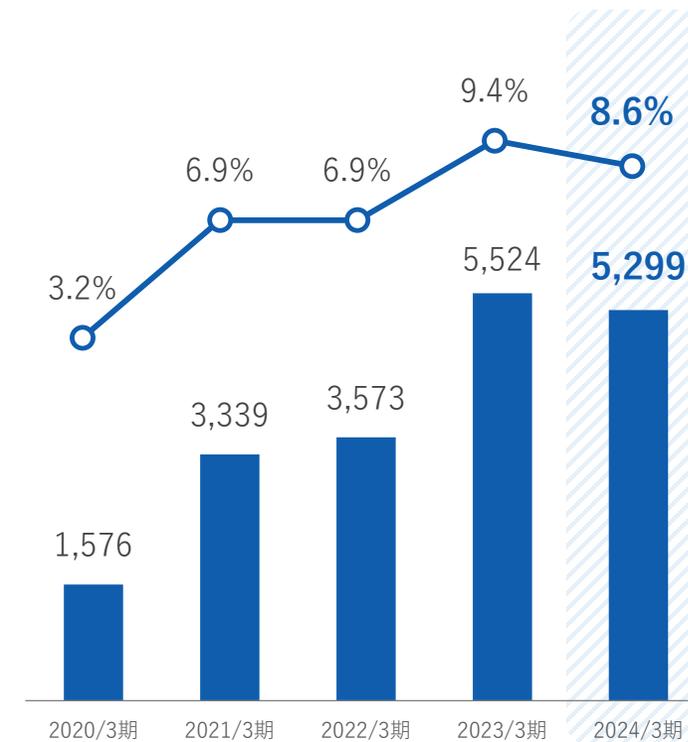
売上高



経常利益・率



当期純利益・率



## 半導体関連事業 ホロン新工場建設 需要増に対応する安定的な生産体制を確立

2024年2月27日公表

当社グループにおいて特に成長ドライバーと位置付けている半導体関連事業に関して製品への需要が引き続き堅調であり、近い将来において生産能力が不足すると見込まれます。

新工場建設により、本社工場内の開発スペースを拡充することで次世代装置等の新製品開発を促進し、さらなる事業拡大を図ります。

### 設備投資の概要

名称	株式会社ホロン 第二工場（仮称）
所在地	東京都立川市一番町四丁目55
敷地面積	4,701㎡
延べ面積	4,389㎡
工場概要	鉄骨造／地上3階
投資総額	37.7億円（予定）

### 日程

土地引渡	2024年 1月
着工予定	2024年10月
竣工予定	2025年12月



## 医療領域での技術の相互活用による健康ソリューション提供能力の強化

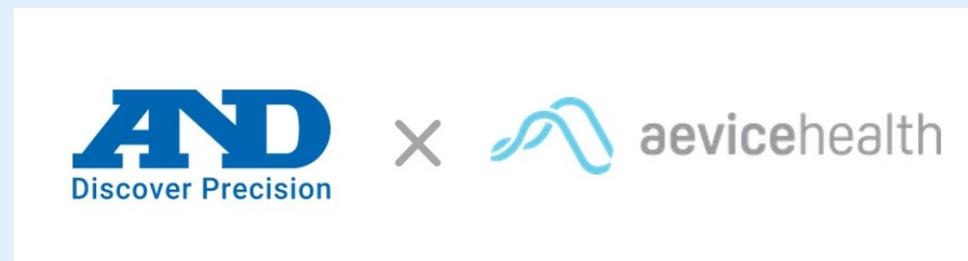
2024年5月14日公表

シンガポールを拠点とする遠隔呼吸モニタリングソリューションのプロバイダーである Aevice Health Pte Ltd(以下「Aevice社」) に対する 100 万米ドルの出資契約を締結



左：Aevice社 CEO Adrian Ang氏

右：エー・アンド・デイ代表取締役  
執行役員社長 森島 泰信



今回の出資により、当社グループの強みである血圧計を主体とした医療領域の技術・販売網と、Aevice社の持つ独自のデジタルヘルスに関する技術の相互活用が促進され、社会が直面する健康上の課題に対して、より付加価値の高い新商品・新サービスの創出が可能となります。

Aevice社は、「医療へのアクセスを改善し、患者に活力を与え、医療コストを削減すること」を使命とし、最先端のテクノロジーを用いた独自の非侵襲性遠隔患者モニタリングプラットフォームとウェアラブル聴診器「AeviceMD」を通じて、喘息とCOPD（慢性閉塞性肺疾患）ケアの改善に注力するデジタルヘルス企業です。

# | Contents

1   2024年3月期 決算概要	P 6
2   2024年3月期 セグメント別業績	P14
3   2025年3月期 業績予想	P 20
4   株主還元	P 25
5   APPENDIX(参考情報)	P 27

前期比売上高 + 5.0%、営業利益 + 6.4%と増収増益を継続、対予想に対してもほぼ予想通りの着地  
 利益率の高い半導体関連事業が大きく伸長し全体業績を牽引

	2023/3期		2024/3期		増減額	前期比	(ご参考)	
	(単位：百万円)	率		率			期初予想	達成率
売上高	59,028	—	<b>61,955</b>	—	<b>2,927</b>	<b>+5.0%</b>	62,000	99.9%
売上原価	32,725	55.4%	<b>34,335</b>	55.4%	<b>1,610</b>	<b>+4.9%</b>	—	—
売上総利益	26,303	44.6%	<b>27,619</b>	44.6%	<b>1,316</b>	<b>+5.0%</b>	—	—
販売費及び 一般管理費	18,827	31.9%	<b>19,664</b>	31.7%	<b>836</b>	<b>+4.4%</b>	—	—
営業利益	7,475	12.7%	<b>7,955</b>	12.8%	<b>480</b>	<b>+6.4%</b>	7,800	102.0%
経常利益	7,643	12.9%	<b>8,240</b>	13.3%	<b>596</b>	<b>+7.8%</b>	7,450	110.6%
税引き前利益	7,571	12.8%	<b>7,952</b>	12.8%	<b>381</b>	<b>+5.0%</b>	—	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	5,524	9.4%	<b>5,299</b>	8.6%	<b>-224</b>	<b>-4.1%</b>	5,110	103.7%
一株当たり 当期純利益 (円)	201.33	—	<b>192.91</b>	—	<b>-8.42</b>	—	186.15	—

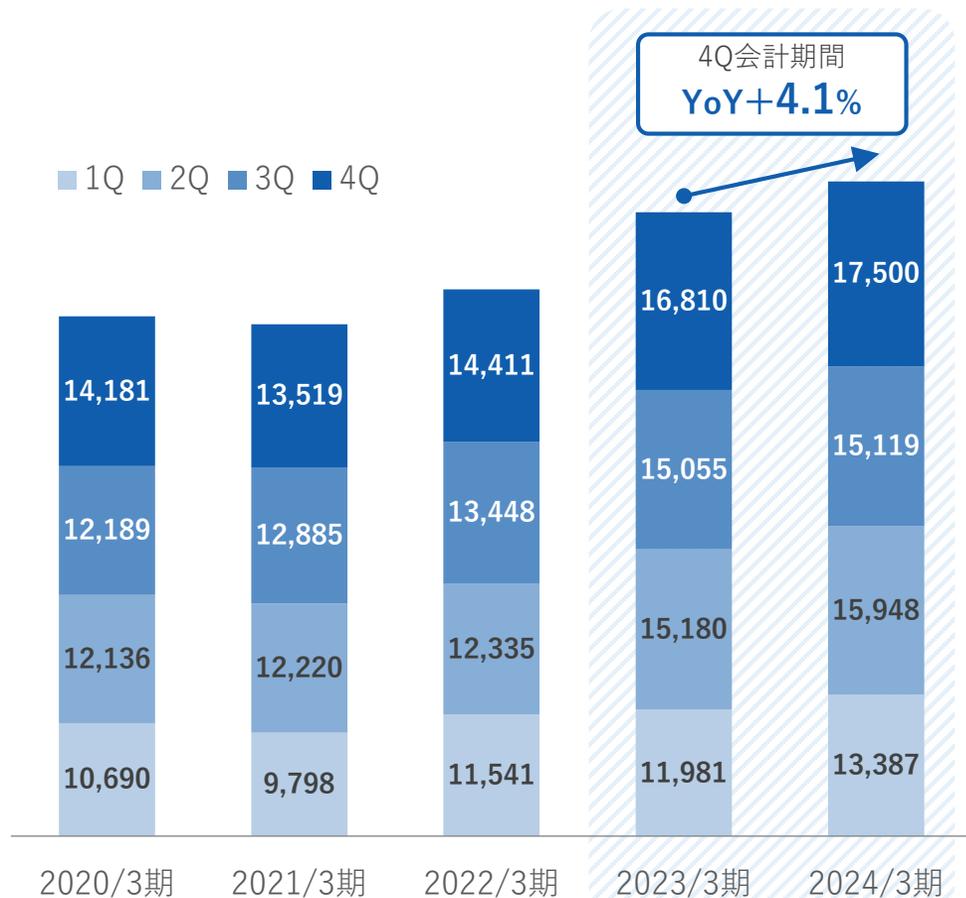
# 四半期別売上高・営業利益の推移

## 第4四半期会計期間 売上高、営業利益ともに過去最高

(単位：百万円)

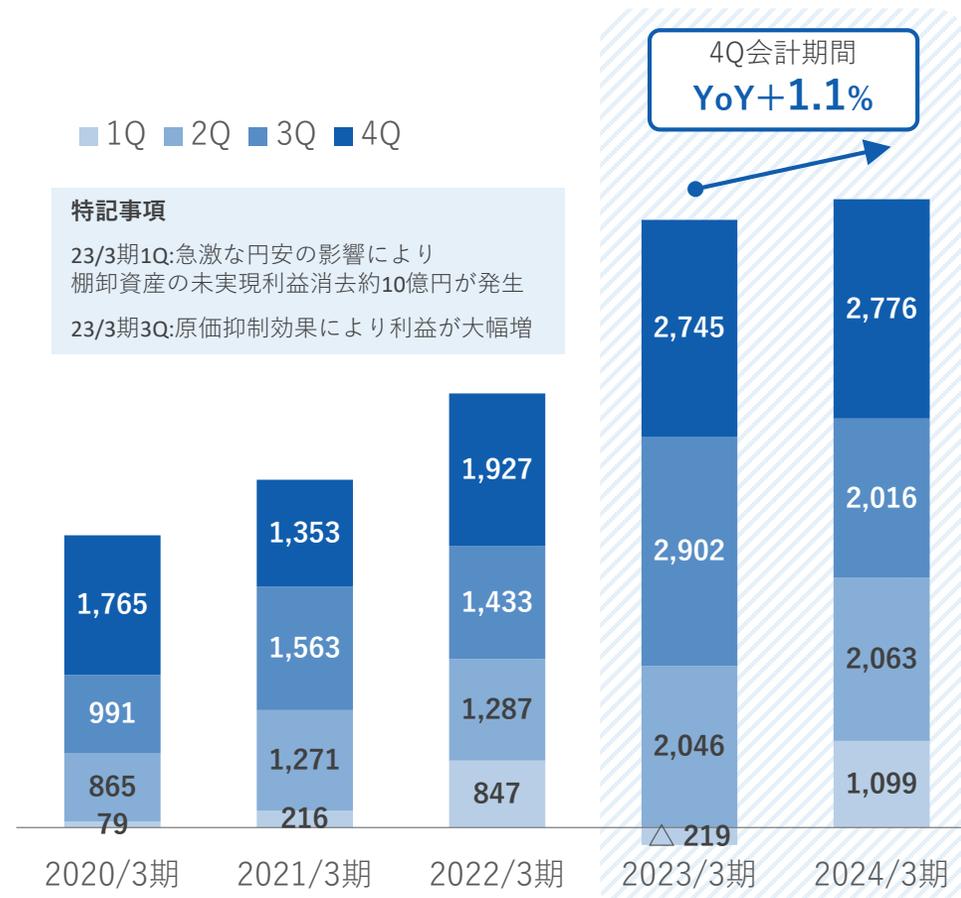
### 売上高

2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
49,197	48,424	51,736	59,028	<b>61,955</b>



### 営業利益

2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
3,700	4,404	5,496	7,475	<b>7,955</b>



## 地域別売上高推移

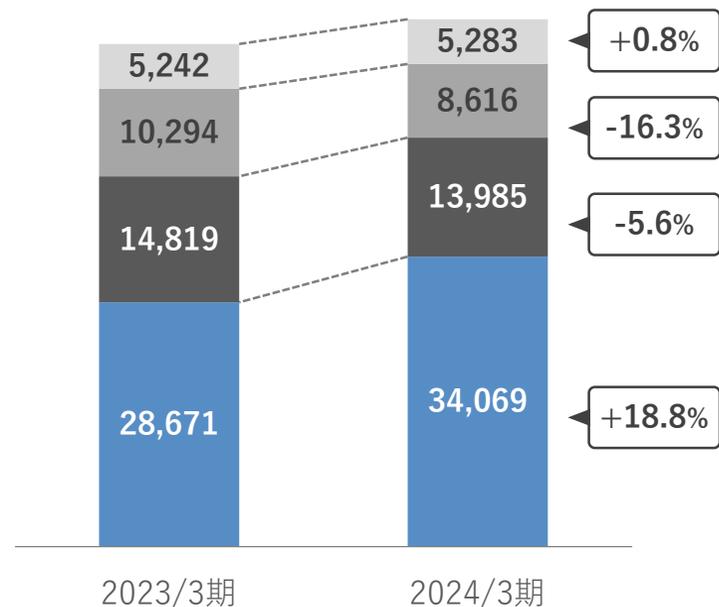
主に米州の設備投資抑制と欧州の為替影響で海外売上高が減少となるものの、半導体関連事業の伸長により国内売上高が増加

### 地域別売上高

	2023/3期		2024/3期		前期比
	額	構成比	額	構成比	
日本	28,671	48.6%	34,069	55.0%	+18.8%
海外	30,356	51.4%	27,885	45.0%	-8.1%

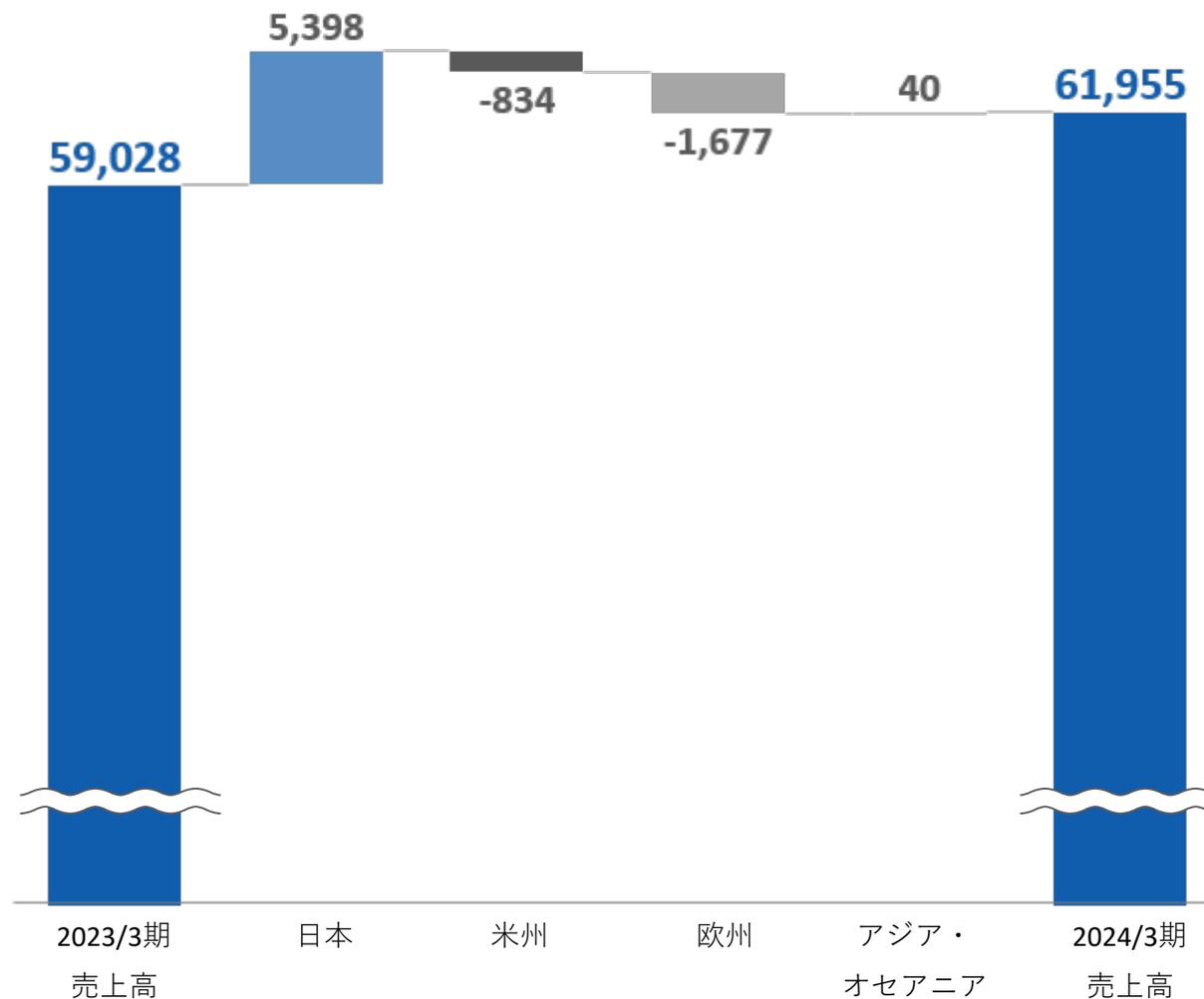
■ 日本 ■ 米州 ■ 欧州 ■ アジア・オセアニア

YoY



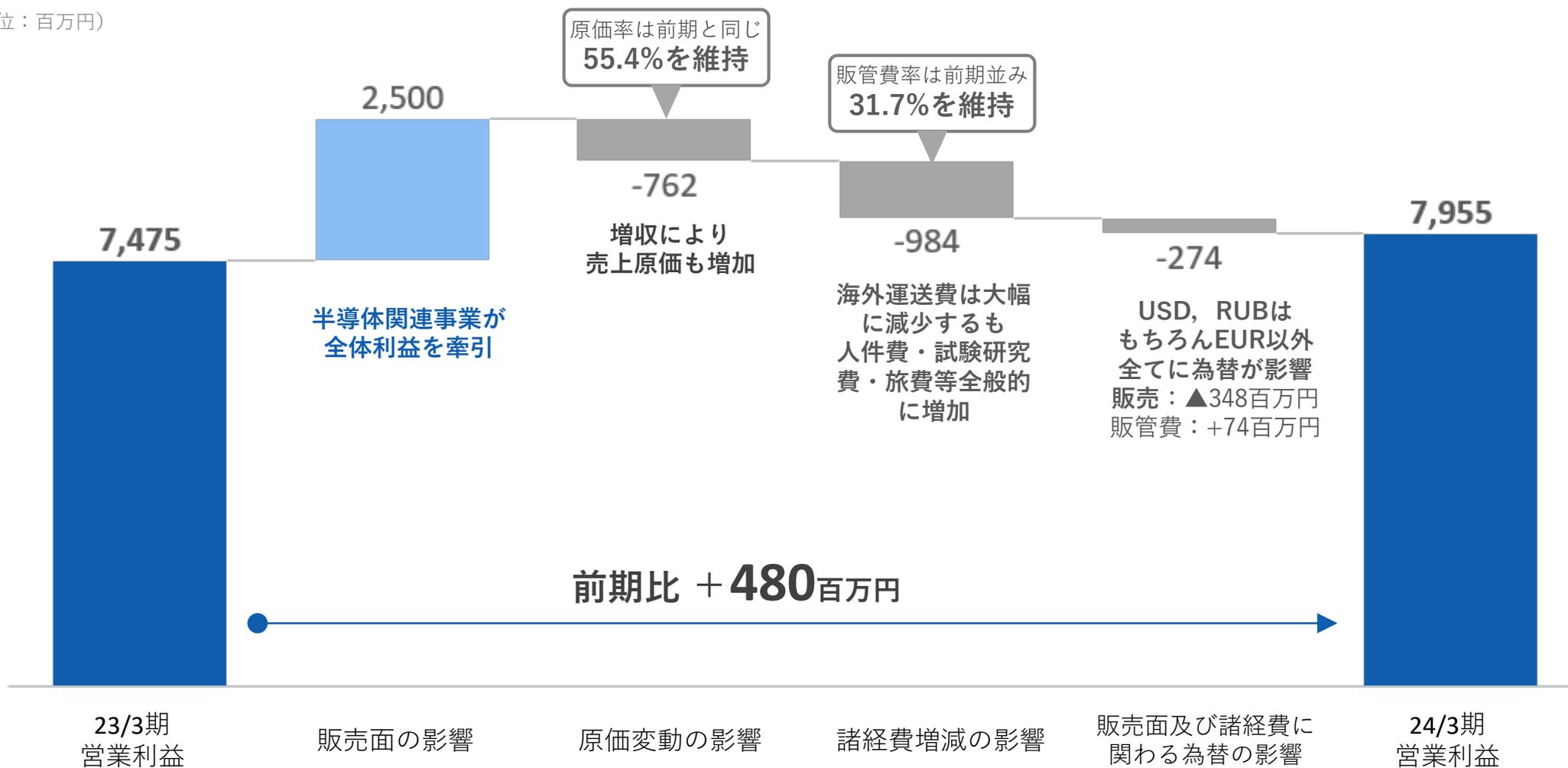
### 地域別売上高増減分析

(単位：百万円)



# 営業利益増減要因

(単位：百万円)



## 貸借対照表

(単位：百万円)	2023年3月期	2024年3月期	増減額
流動資産合計	52,660	54,368	1,707
固定資産合計	16,757	17,618	860
<b>資産合計</b>	<b>69,418</b>	<b>71,986</b>	<b>2,568</b>
流動負債合計	31,202	29,896	-1,306
固定負債合計	5,640	4,327	-1,313
<b>負債合計</b>	<b>36,843</b>	<b>34,223</b>	<b>-2,619</b>
株主資本合計	33,677	38,017	4,339
純資産合計	32,574	37,762	5,187
負債純資産合計	69,418	71,986	2,568
<b>自己資本比率</b>	<b>46.8%</b>	<b>52.3%</b>	<b>+5.5%</b>

- 受取手形、売掛金及び契約資産を中心に流動資産が1,707百万円増加
- 土地を中心に固定資産が860百万円増加
- 短期・長期借入金が約2,600百万円減少

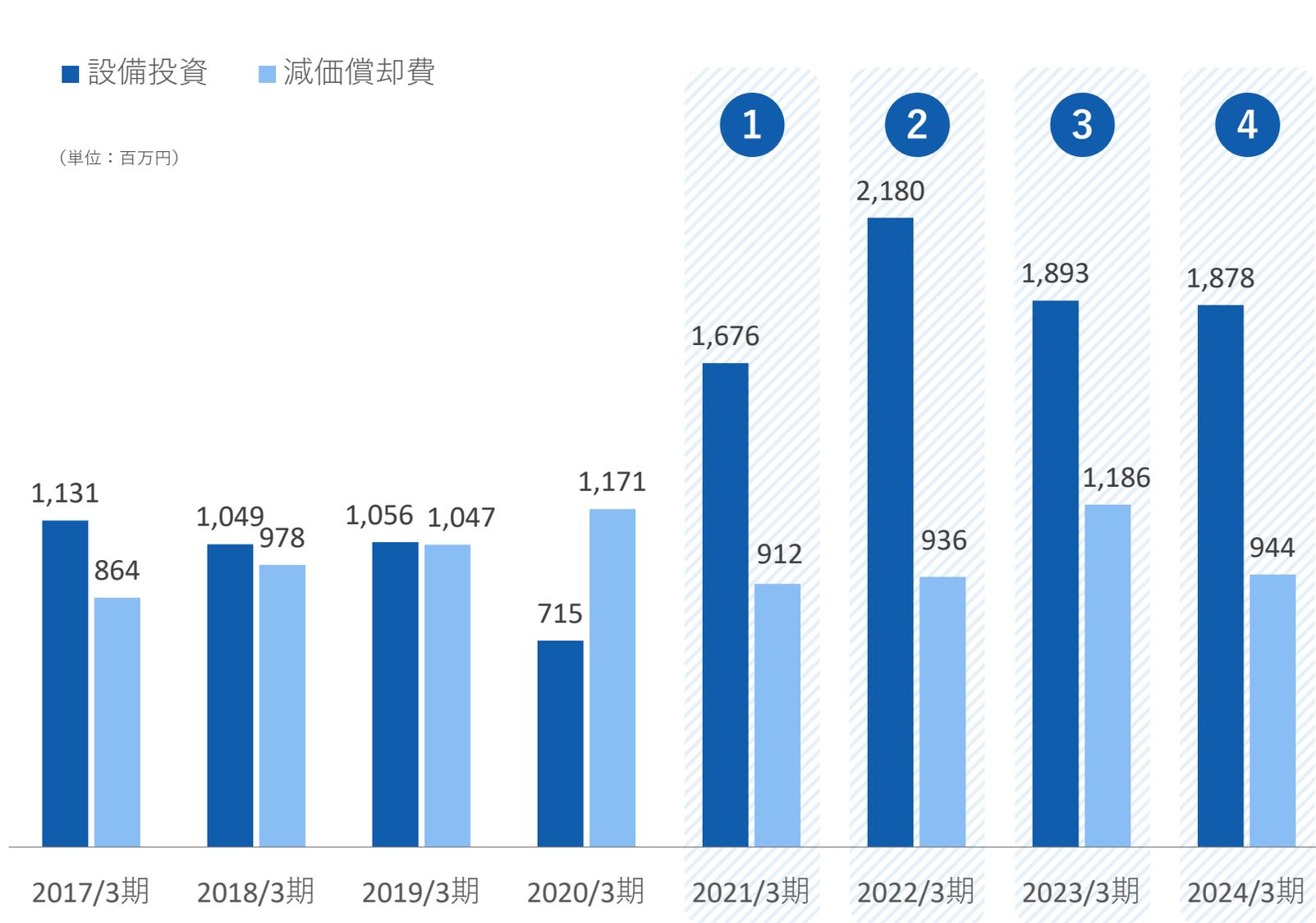
棚卸資産の削減により増加した営業CFを設備投資および借入の返済に充当

(単位：百万円)	2023年3月期	2024年3月期	増減
営業活動によるCF	4,096	7,201	3,104
投資活動によるCF	-1,364	-2,007	-643
フリー・キャッシュ・フロー	2,732	5,193	2,461
財務活動によるCF	452	-5,674	-6,126
期末現金残高	14,315	14,016	-298

# 設備投資・減価償却費の推移

■ 設備投資 ■ 減価償却費

(単位：百万円)



- 1 2021年3月期はホロンの本社工場建設のため設備投資が増加
- 2 2022年3月期は韓国工場建設及び前年度に引き続きホロンの本社工場建設の設備投資が増加
- 3 2023年3月期は海外子会社における工場や事務所等賃貸物件の契約更新に伴い資産への計上額が増加 (IFRS・米国会計基準の適用により)
- 4 2024年3月期はホロンの新工場予定地取得のため設備投資が増加

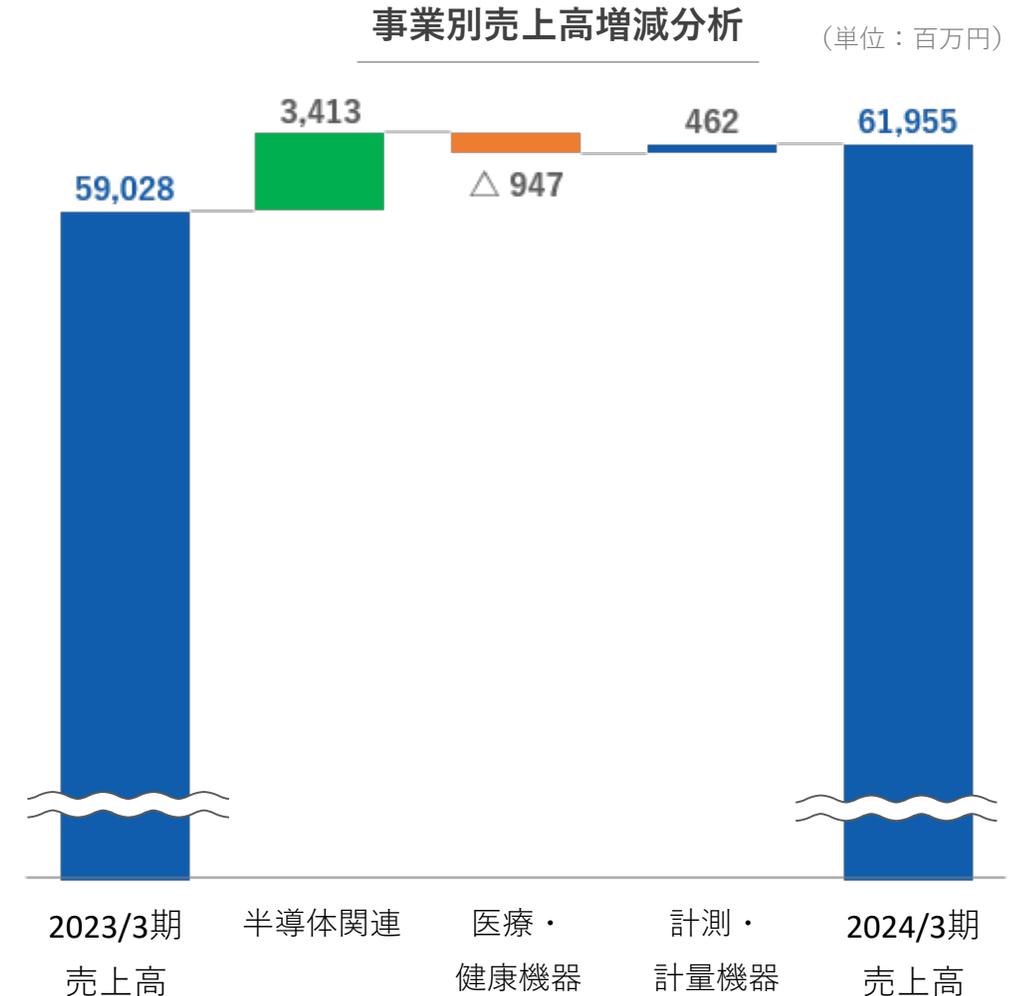
# | Contents

1   2024年3月期 決算概要	P 6
2   2024年3月期 セグメント別業績	P14
3   2025年3月期 業績予想	P 20
4   株主還元	P 25
5   APPENDIX(参考情報)	P 27

## 事業別業績

半導体関連事業は前期比大幅に伸長、医療・健康機器事業はほぼ予想通りに着地、計測・計量機器事業は前期比増も、対予想は未達

	23/3期	24/3期	前期比	当初予想	達成率
売上高	59,028	61,955	+5.0%	62,000	99.9%
半導体関連	6,916	10,329	+49.3%	8,200	126.0%
医療・健康機器	24,511	23,563	-3.9%	23,600	99.8%
計測・計量機器	27,600	28,062	+1.7%	30,200	92.9%
営業利益	7,475	7,955	+6.4%	7,800	102.0%
半導体関連	2,339	3,785	+61.8%	-	-
医療・健康機器	4,675	4,249	-9.1%	-	-
計測・計量機器	2,539	1,762	-30.6%	-	-
全社消去	-2,079	-1,842	-	-	-



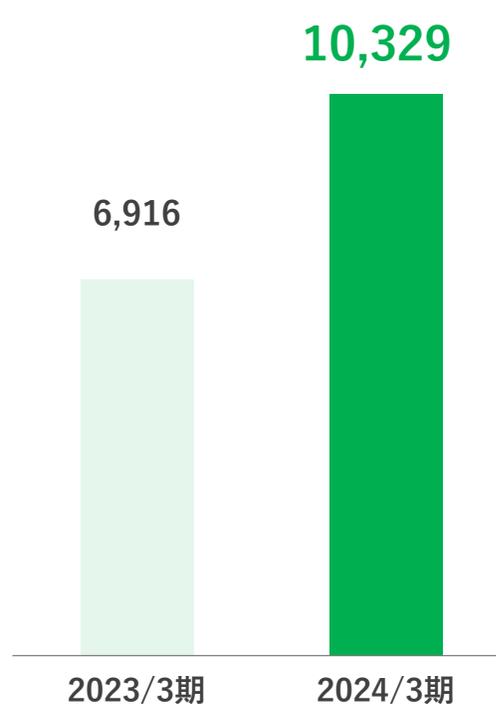
当社製品への需要は年間を通して堅調に推移し、全社一丸となって需要に対応した結果、  
前期比売上高 +49.3%、営業利益 +61.8%と大幅増収増益を達成

- 顧客要求に対応すべく製造・出荷体制を強化
- 従来からの収益性に加え、生産性の向上とグループ調達による原価低減を進めてきたことで利益率向上も継続  
(23/3期:33.8% → 24/3期:36.7%)

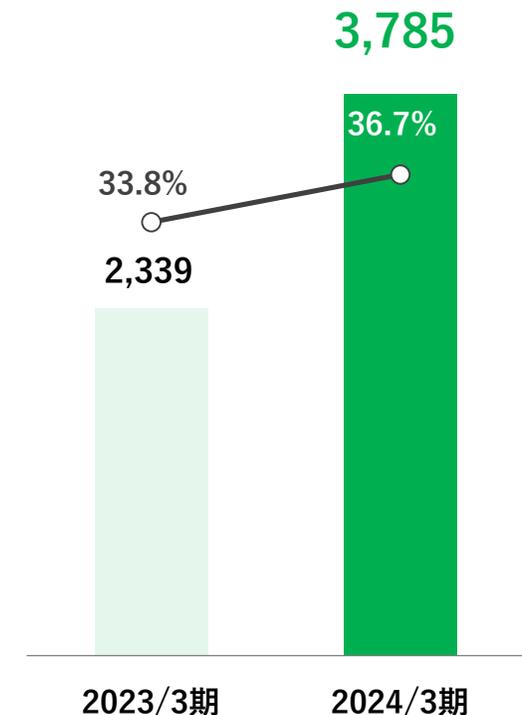
売上高・営業利益

	2023/3期	2024/3期	前期比	ご参考	
				当初 予想	達成率
売上高	6,916	10,329	+49.3%	8,200	126.0%
営業利益	2,339	3,785	+61.8%	—	—

売上高



営業利益・率 (単位：百万円)



※：半導体関連事業は国内のみ

※：各事業別の営業利益には、全社費用およびセグメント間の取引調整額 (23/3期 -2,079百万円、24/3期 -1,842百万円) が含まれておりません。

ほぼ当初予想通りの着地、顧客・地域ごとの需要は全体的に上向き傾向になってきているものの、特に欧州での為替が業績に影響

- 日本** 医科向けおよび家庭向け製品の需要が第4四半期で回復基調となり、売上、利益ともに前期並みに推移
- 米州** 米国での家庭用血圧計の好調な需要が継続し、大口案件を中心に売上が増加、輸送費の抑制や製品ミックスによって利益も増加
- 欧州** 現地でのシェアを維持できたことで現地通貨ベースでの売上は増加、コスト増および為替変動の影響が大きく、円換算後の売上、利益ともに減少

売上高・営業利益

	2023/3期 ( )は構成比		2024/3期 ( )は構成比		前期比
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	
売上高合計	24,511		23,563		-3.9%
医療機器	4,360 (17.8%)		4,503 (19.1%)		+3.3%
健康機器	20,150 (82.2%)		19,060 (80.9%)		-5.4%
営業利益	4,675		4,249		-9.1%

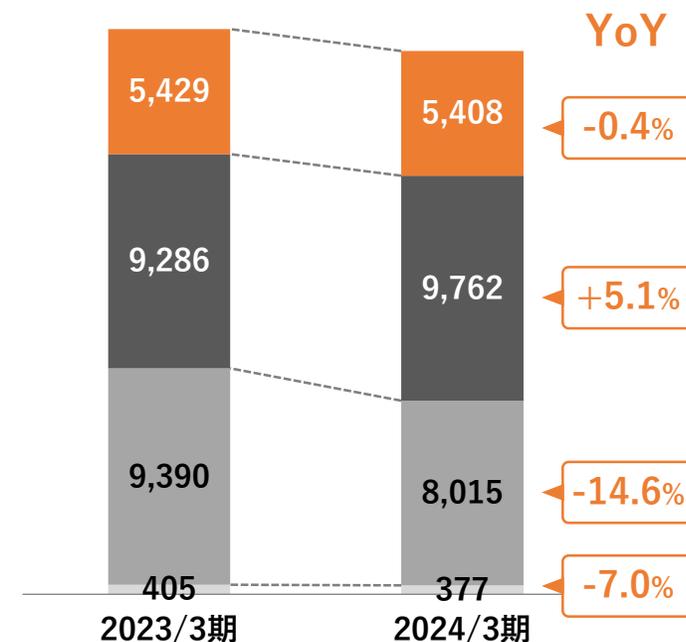
ご参考

	当初予想		達成率
	売上高	営業利益	
売上高合計	23,600		99.8%
医療機器	4,700		95.8%
健康機器	18,900		100.8%
営業利益	—		—

地域別売上高

(単位：百万円)

■ 日本 ■ 米州 ■ 欧州 ■ アジア・オセアニア



コロナ禍で先送りされていた国内の設備投資再開に伴う需要増加が牽引したものの、特に米国や中国など海外における設備投資需要停滞の影響が大きく、前期比増収減益

1Qにおける原材料高等による赤字が利益減に影響、2Qは黒字化、下期の営業利益率は前期並みで推移し回復

日本

設備投資需要の高まりにより、特に第4四半期でのDSPシステム※の出荷が好調に推移し、売上、利益ともに増加

米州

主力の計量機器における前年度特需からの反動減が最後まで重荷。設備投資抑制の状況継続によってDSPシステムも低調に推移

アジア・オセアニア

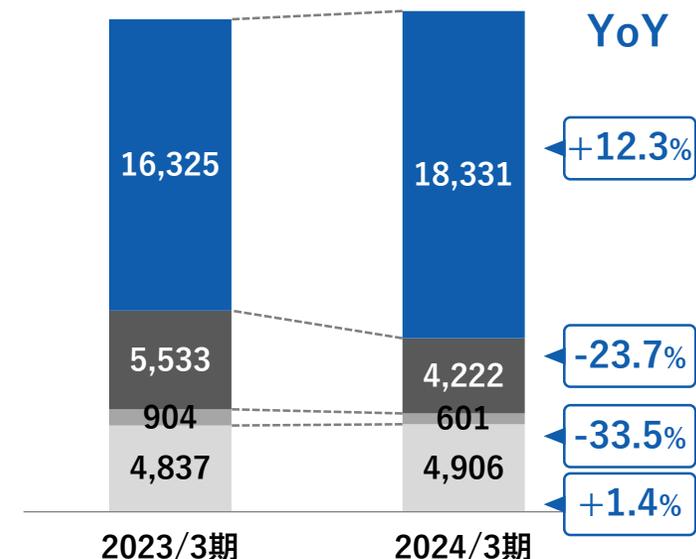
韓国やインドなどでの需要が増加基調となり売上は増加、人件費をはじめとする各種コスト増加の負担が利益に影響

売上高・営業利益

	2023/3期 (は構成比)	2024/3期 (は構成比)			ご参考		
		上期	下期	合計	前期比	当初予想	達成率
売上高合計	27,600	12,488	15,574	28,062	+1.7%	30,200	92.9%
計測機器	2,439 (8.8%)	1,022	1,635	2,658 (9.5%)	+9.0%	2,860	93.0%
計量機器	19,151 (69.4%)	9,276	9,632	18,909 (67.4%)	-1.3%	20,170	93.7%
DSP機器	6,009 (21.8%)	2,188	4,305	6,494 (23.1%)	+8.1%	7,170	90.6%
営業利益	2,539	361	1,400	1,762	-30.6%	—	—

地域別売上高 (単位：百万円)

■ 日本 ■ 米州 ■ 欧州 ■ アジア・オセアニア



※：DSPシステム：計測・制御・シミュレーションシステム

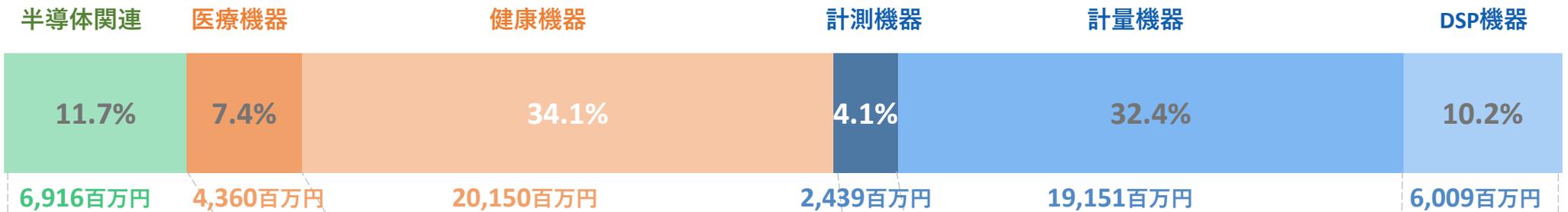
※：各事業別の営業利益には、全社費用およびセグメント間の取引調整額（23/3期 -2,079百万円、24/3期 -1,842百万円）が含まれておりません。

# 事業別売上高構成

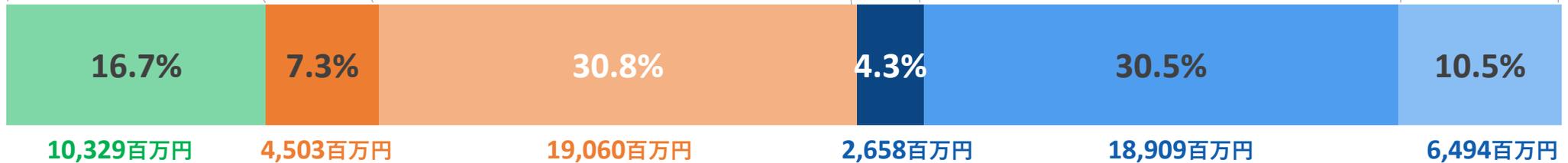
■ 半導体関連 ■ 医療機器 ■ 健康機器 ■ 計測機器 ■ 計量機器 ■ DSP機器

23/3期  
59,028  
百万円

半導体関連 6,916百万円 (11.7%)	医療・健康機器 24,511百万円 (41.5%)	計測・計量機器 27,600百万円 (46.8%)
------------------------------	------------------------------	------------------------------



24/3期  
61,955  
百万円



半導体関連 10,329百万円 (16.7%)	医療・健康機器 23,563百万円 (38.0%)	計測・計量機器 28,062百万円 (45.3%)
----------------------------	------------------------------	------------------------------



フォトマスク用CD-SEM



全自動血圧計



家庭用血圧計



引張・圧縮試験機



分析用電子天秤



車載統合計測システム (VMS)

# | Contents

1   2024年3月期 決算概要	P 6
2   2024年3月期 セグメント別業績	P14
<b>3   2025年3月期 業績予想</b>	<b>P 20</b>
4   株主還元	P 25
5   APPENDIX(参考情報)	P 27

売上高 前期比 +6.5%、営業利益 前期比 +15.6%と増収、営業利益二桁増益を見込む  
 中期経営計画最終年度（25/3期）は、23年5月12日公表の上方修正通りを見込む

事業環境

半導体関連事業

引き続き中長期的には新たな需要は高まる見込み、米国による中国向け輸出規制強化などの環境変化には注視が必要  
 当社製品への需要は前期並みを想定

医療・健康機器事業

医療・健康分野でのデジタル化進展やインフラ整備、個人での健康管理などの需要増継続が見込まれる一方、地政学リスクや為替の影響など、引き続き厳しい事業環境を想定

計測・計量機器事業

引き続き世界的なカーボンニュートラル社会やデジタル化社会へのシフトが加速する中、新規技術や生産設備への投資は続く

	2024/3期	2025/3期 予想	増減率
(単位：百万円)			
売上高	61,955	66,000	+6.5%
営業利益	7,955	9,200	+15.6%
経常利益	8,240	8,980	+9.0%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	5,299	6,200	+17.0%
1株当たり 当期純利益 (円)	192.91	225.59	+32.68

想定為替レート：1米ドル140.00円、1露ルーブル1.60円

2025年3月期は半導体関連事業については大幅な業績貢献を見込んでおらず、計測・計量機器事業において、主に米国やアジア地域での需要増による業績貢献を見込む

(単位：百万円)		2024/3期 (実績)	2025/3期 (予想)	増減率
半導体関連事業		10,329	10,500	+1.6%
医療・健康 機器事業	医療機器	4,503	4,600	+2.2%
	健康機器	19,060	19,300	+1.3%
	<b>小計</b>	<b>23,563</b>	<b>23,900</b>	<b>+1.4%</b>
計測・計量 機器事業	計量機器	18,909	21,600	+14.2%
	DSP機器	9,153	10,000	+9.2%
	<b>小計</b>	<b>28,062</b>	<b>31,600</b>	<b>+12.6%</b>
<b>売上高合計</b>		<b>61,955</b>	<b>66,000</b>	<b>+6.5%</b>

半導体関連事業

受注残や引合いの状況を鑑み、24年3月期並みの実績を見込む。次世代装置等の新製品開発推進や既存顧客とのリレーション強化によって今後の需要増に対応しさらなる成長への準備を着実に実行

医療・健康機器事業

各国での販売エリアや流通の拡大、新たな事業展開の推進などに加え、部材調達の更なる見直しおよび生産性向上の取り組み推進により原価低減を図り、業績の維持・拡大を目指す

計測・計量機器事業

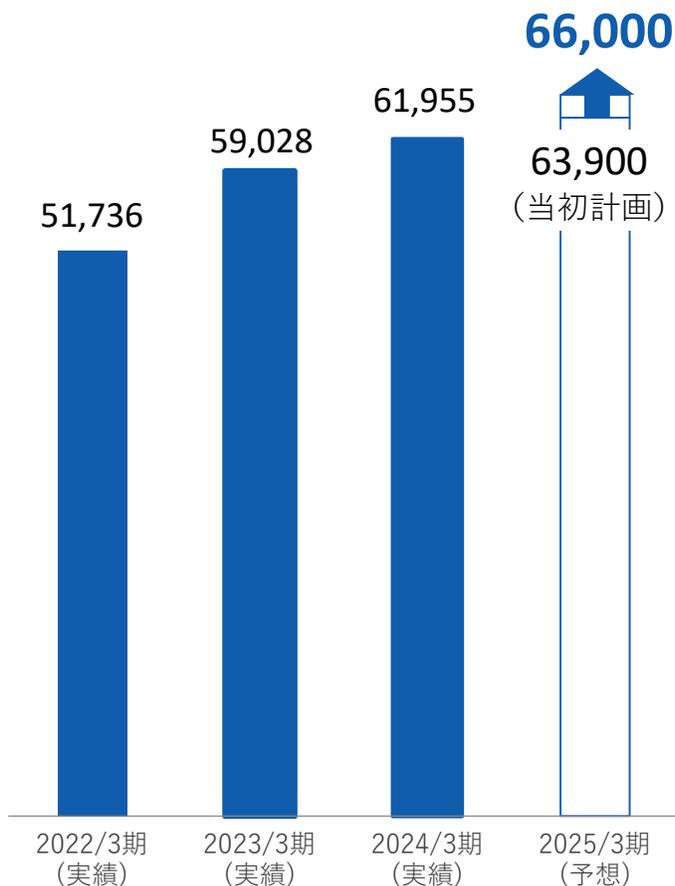
米州での流通ルート見直しや販売チャネル強化など販売戦略見直しによる事業再構築および中国などのアジア地域における事業拡大に加え、電動化への対応強化により業績の拡大を目指す

※計測・計量機器事業の内訳を変更、25年3月期予想からは計測機器とDSP機器をあわせDSP機器としてまとめた

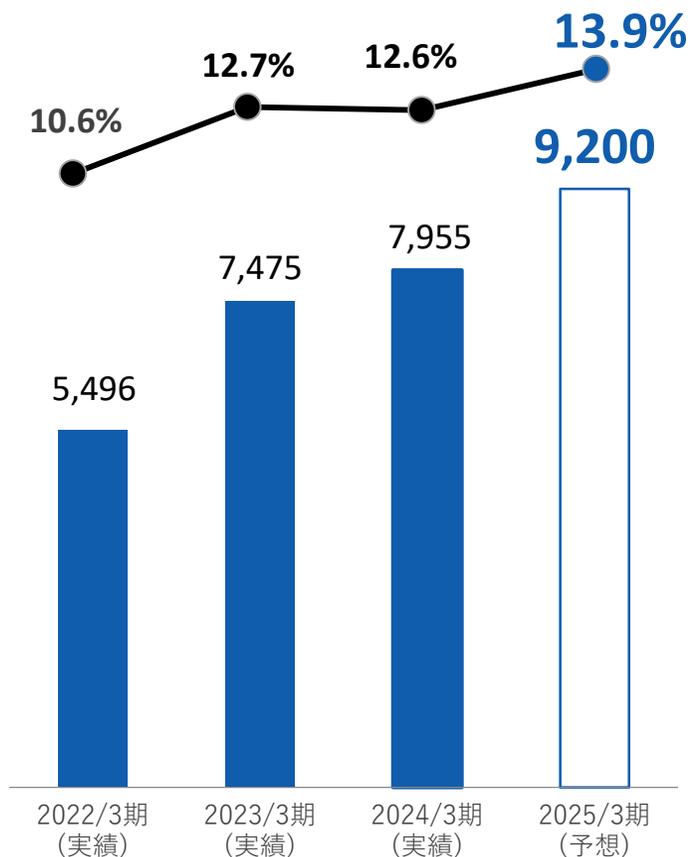
最終年度である25年3月期は、23年5月12日公表の上方修正通りを見込む

(単位：百万円)

売上高



営業利益・率



2025年3月期

売上高  
2022/3期比  
+ 27.6%

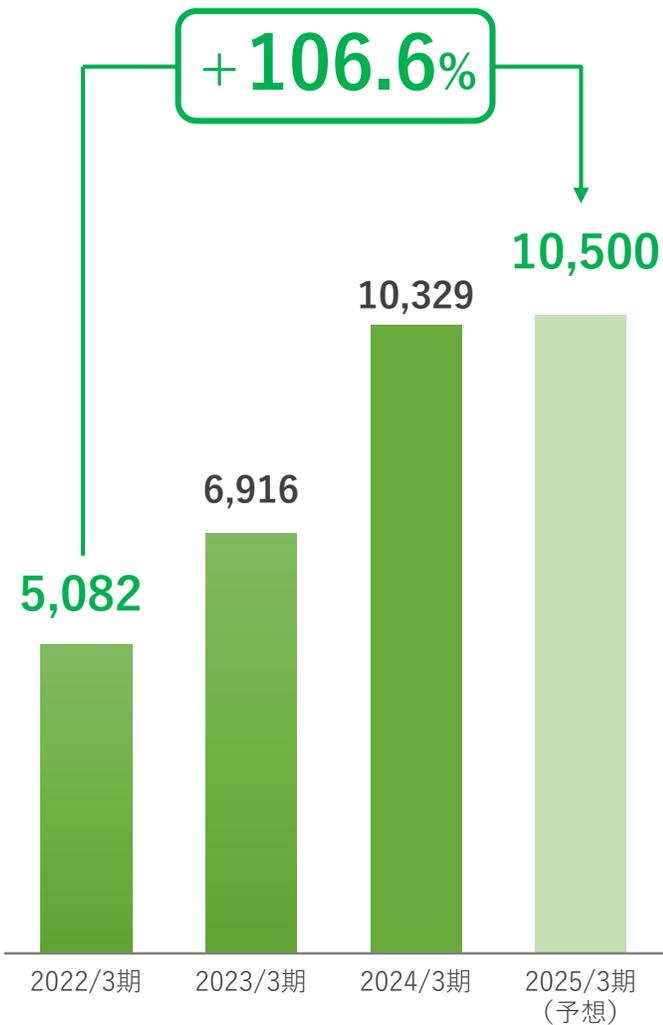
営業利益  
2022/3期比  
+ 67.4%

# 中期経営計画数値目標 セグメント別売上高

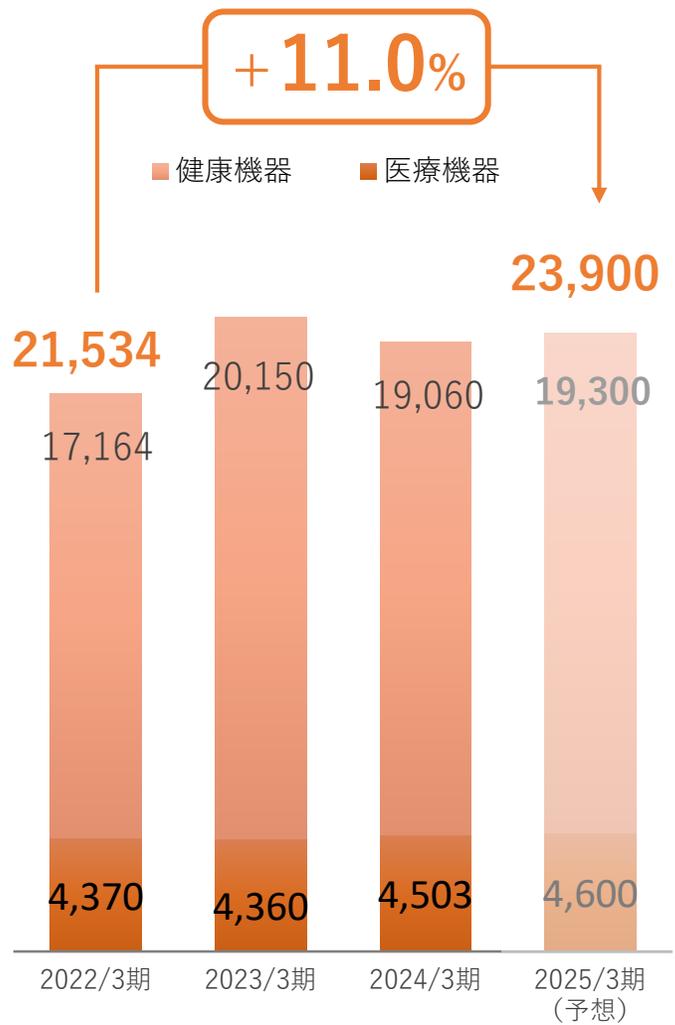
※計測・計量機器事業の内訳を変更、25年3月期予想からは計測機器とDSP機器をあわせDSP機器としてまとめた

(単位：百万円)

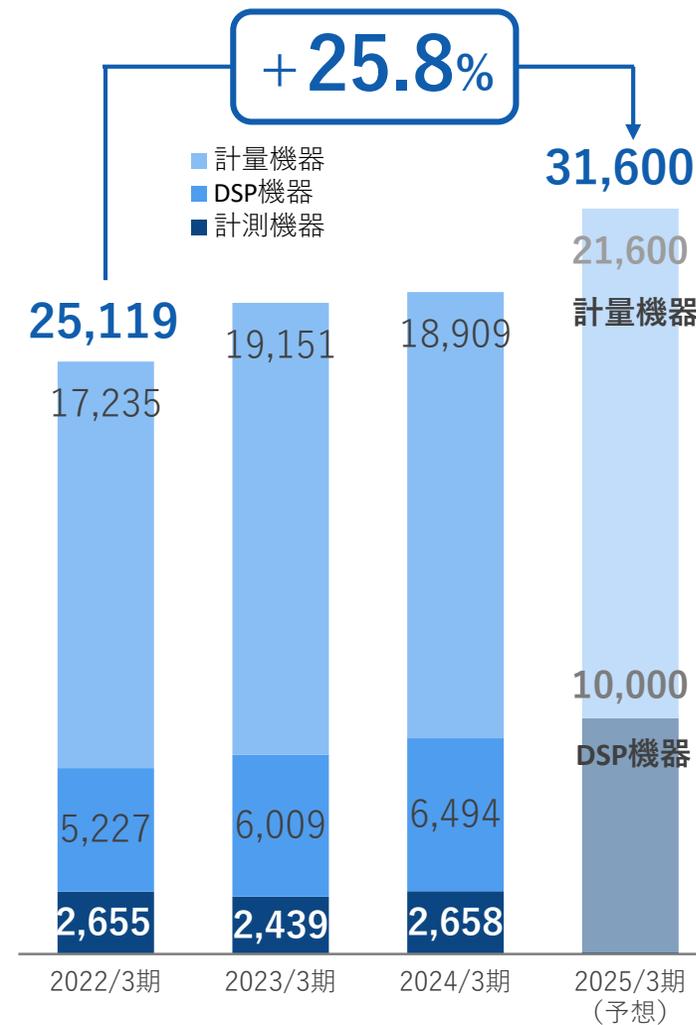
## 半導体関連事業



## 医療・健康機器事業



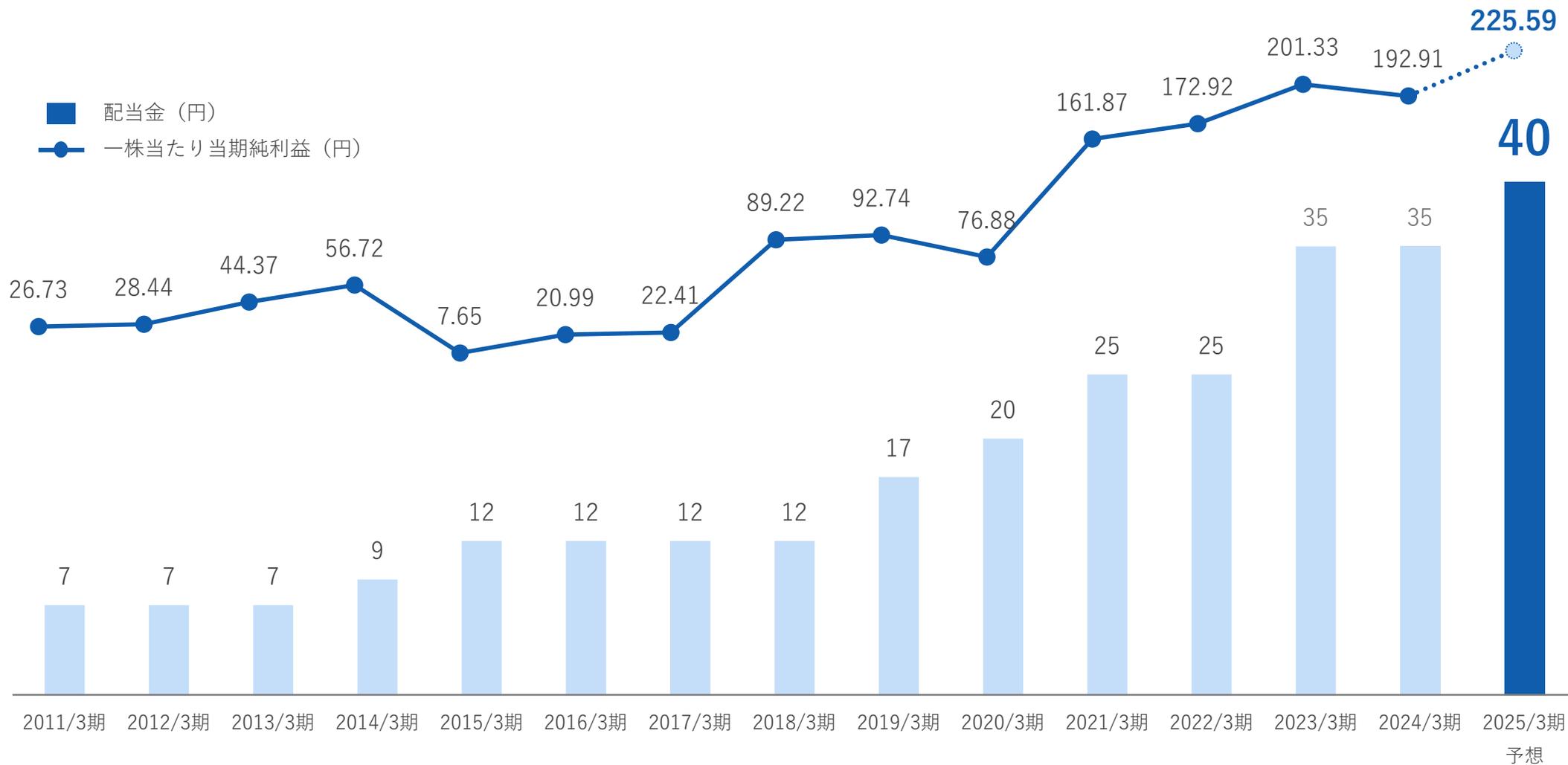
## 計測・計量機器事業



# | Contents

1   2024年3月期 決算概要	P 6
2   2024年3月期 セグメント別業績	P14
3   2025年3月期 業績予想	P 20
<b>4   株主還元</b>	<b>P 25</b>
5   APPENDIX(参考情報)	P 27

2024年3月期の業績結果を踏まえ、2025年3月期の年間配当予想は2024年3月期から5円増配し40円（中間配当20円、期末配当20円）を予定



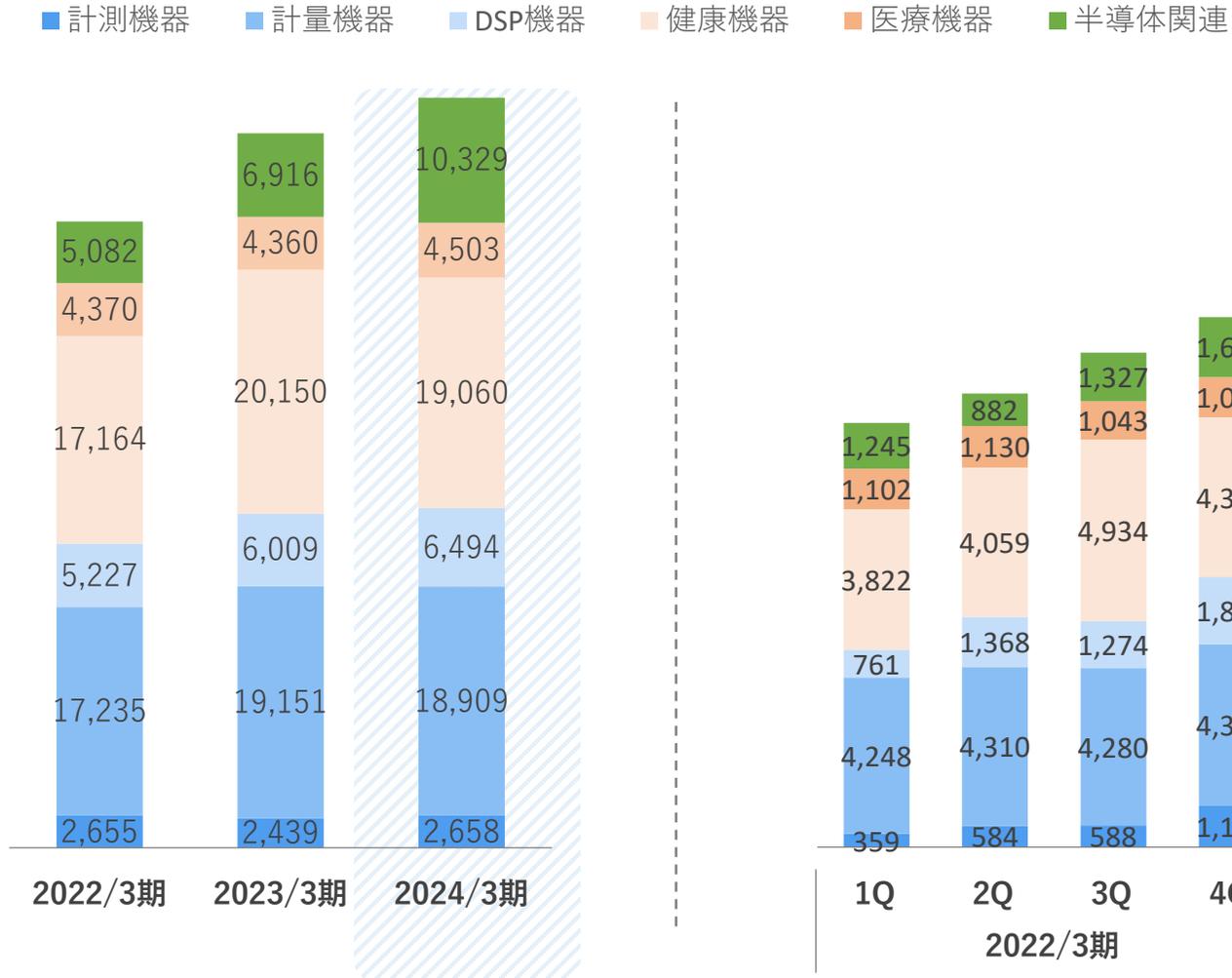
# | Contents

1   2024年3月期 決算概要	P 6
2   2024年3月期 セグメント別業績	P14
3   2025年3月期 業績予想	P 20
4   株主還元	P 25
5   APPENDIX(参考情報)	P 27

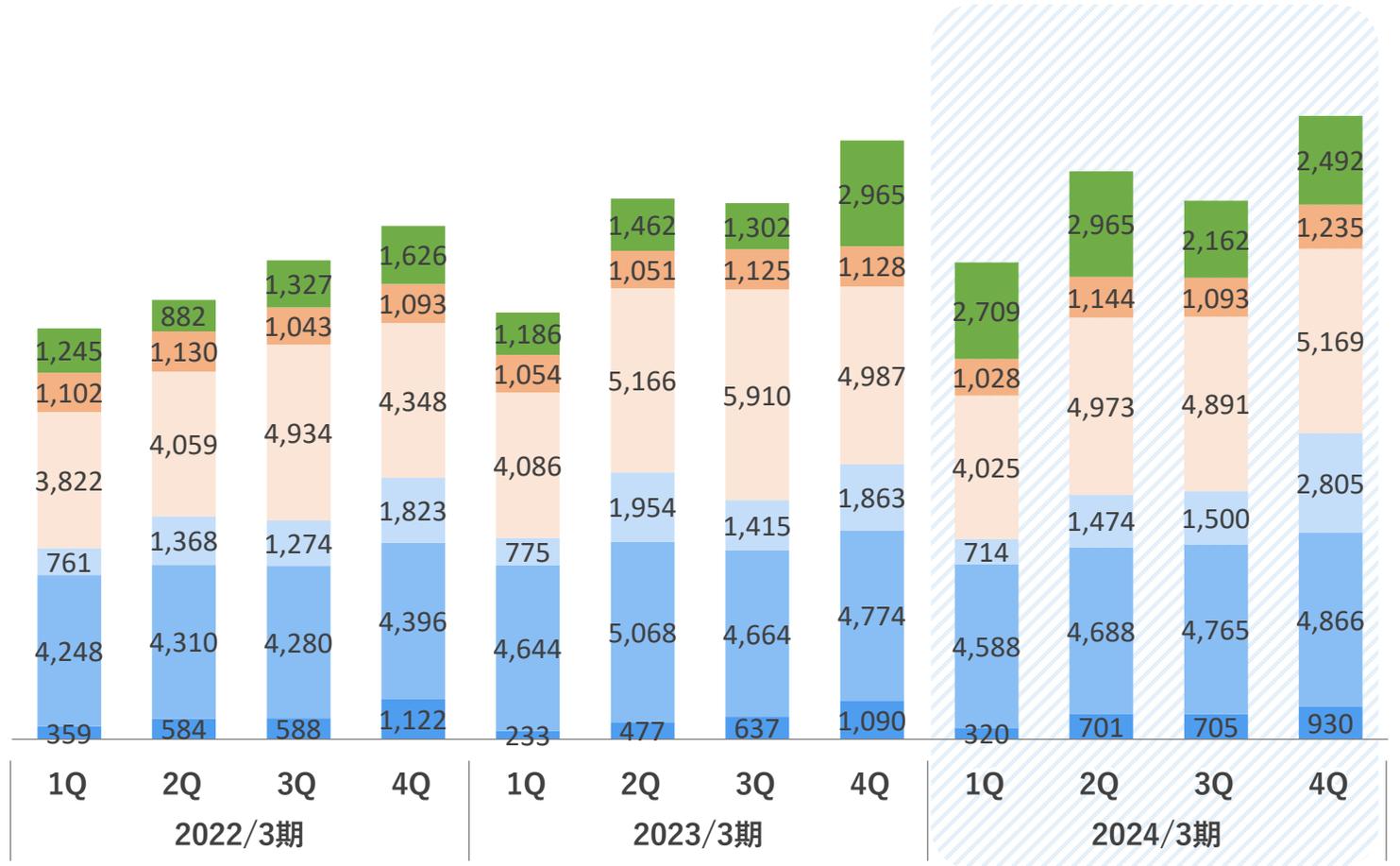
# (ご参考) セグメント別業績推移 (年間・四半期毎)

(単位：百万円)

## 売上高推移 (年間)



## 売上高推移 (四半期毎)



## (ご参考) 事業別業績

(単位：百万円)

	23/3期	24/3期	前期比
<b>売上高</b>	<b>59,028</b>	<b>61,955</b>	<b>+5.0%</b>
半導体関連	6,916	10,329	+49.3%
医療・健康機器	24,511	23,563	-3.9%
計測・計量機器	27,600	28,062	+1.7%
<b>売上原価</b>	<b>32,725</b>	<b>34,335</b>	<b>+4.9%</b>
半導体関連	2,976	4,149	+39.4%
医療・健康機器	13,460	13,034	-3.2%
計測・計量機器	15,893	16,827	+5.9%
<b>販管費</b>	<b>18,827</b>	<b>19,664</b>	<b>+4.4%</b>
半導体関連	1,600	2,394	+49.6%
医療・健康機器	6,375	6,279	-1.5%
計測・計量機器	9,167	9,472	+3.3%
<b>営業利益</b>	<b>7,475</b>	<b>7,955</b>	<b>+6.4%</b>
半導体関連※	2,339	3,785	+61.8%
医療・健康機器※	4,675	4,249	-9.1%
計測・計量機器※	2,539	1,762	-30.6%

## サステナビリティの取り組みを更新しました。是非ご覧ください

当社グループは、最先端かつ多種多様な「はかる」技術を通じて、「計測・計量」「医療・健康」「半導体」分野での事業活動により社会課題の解決に貢献するとともに、環境保全や環境負荷低減の取り組みを積極的に推進することで、豊かで持続的な社会の実現と中長期的な企業価値の向上を目指します。

### 主な更新内容

- P4** マテリアリティ（重要課題）の設定
- P6** TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言に基づく情報開示
- P12** 環境活動データ（指標と目標）  
2050年までにカーボンニュートラルの実現を目標とし、定量的目標として2032年度までのCO<sub>2</sub>削減目標を新たに設定
- P13** 環境貢献の考え方  
当社グループ製品の直接貢献、間接貢献の2つの貢献について
- P16,17** 環境問題の解決に貢献する製品のご紹介 等



わたしたちは、長年培ってきた「はかる」技術を社会に提供することを通じて、科学技術の発展、産業の高度化、人々の健康な生活に寄与し、豊かで持続的な社会づくりにグローバルに貢献する企業グループを目指します。



「はかる」をコアとした技術革新

**AND**

**HOLON**

A&Dホロンホールディングス



A&Dホロンホールディングス  
IRサイトは[こちら](#)から